



うみぐみだより



社会福祉法人 輝(かがやき)福祉会 ここわ保育園 発行：令和3年1月15日 担当：鎌田 道子

新しい年を迎え、保育園に賑やかな声とたくさん笑顔が戻ってきました。新型コロナの影響で、例年通りのお正月も制限され、祖父母や親戚に成長した姿をお見せすることができなかつた方も多いかと思ひます。

でも、子ども達のいきいきとした表情から、お父さん、お母さんとたくさん触れ合い、充実した時間を過ごせた事が伺えます。新型コロナ感染拡大が未だ収束せず、引き続き防止対策をしながらの日々が続きますが、コロナ禍での行動制限や負担を強いられる中でこそ見えてきたものやたくさん気づきを大切に、より良い社会、そしてなんといつてもかわいい子どもたちの為、一人ひとりができる事を考え行動していきたいですね。

寒い日が続いていますが、寒さに負けない体づくりを心がけ、天候や体調をみながら戸外での活動を取り入れ、残り少ないうみ組での時間！進級も視野に入れながら子どもたちに寄り添い、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

親子ふれあい遊びについて

うみ組・そら組・ほし組の親子行事は、新型コロナ感染防止対策として、各クラス入れ替え制で親子ふれ合い遊びを下記の日程で計画いたしました！

日時：令和3年2月13日(土)
うみ組→9:15~9:45 ※9:10受け入れ
そら組→10:00~10:30 ※9:55受け入れ
ほし組→10:45~11:15 ※10:40受け入れ

場所：うみ・そら組の保育室・ランチルーム

持ち物：バスタオル

- *お子様一人につき、保護者一人の参加となります。
- *新型コロナの感染状況によっては、中止となる場合があります。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。
- *詳細は、後日お知らせいたします。

保育のねらい(1月~3月)

- ・安心できる保育者との関係を基盤に、人と関わる事の楽しさ、喜びを感じ、人との関係を広げていく
- ・探索あそびを十分に楽しみ、意欲や興味を広げていく



おしくらまんじゅう



子ども達の好きな絵本 「おしくらまんじゅう」

出版社：ブロンズ新社

いたずら紅白まんじゅうが、あんな子からこんな子までおしくらまんじゅう。こんにやく、納豆、ゆうれいまで…。押されたみんなはどうなるー?! ページを開いて“ひゃあ、びっくり!” 「だるまさん」シリーズ 作者 かがくいひろし

子どもたちの姿・成長の様子

「てんてーい」と保育士を呼んだり、お友だちを指さし、名前を呼ぶ子が増えてきました。また、「あけて」「ちょうだい」等、自分の思いを言葉にして伝えようとする等、やりとりが楽しめるようになり、大きな成長を感じます。

友だちの存在にも興味を示し、他児の遊びをじーっと見たり、同じ遊びを喜び、楽しむ姿もある反面、玩具や場所の奪い合い等も見られるようになってきました。うまく言葉で伝えられないこの時期は手が出てしまう事もしばしば見られます。

一人ひとりの気持ちを受け止めながら、根気強く、他児との関わり方を丁寧に伝えていきたいと思ひます。

うた♪の紹介

うた絵本を利用して、毎日お歌を楽しんでいます。中でも「しあわせならてをたたこう」「おうまのおやこ」「かえるのうた」「いぬのおまわりさん」「おつかいありさん」等、模倣や手遊びを取り入れながら表情豊かに楽しむ姿がとてもかわいい♡です!! ご家庭でも一緒に楽しんで下さいね!

